

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	物流・産業		責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		連絡先	052-398-0503
事務事業名	在来施設(上屋・荷さばき地)の管理・運営		連携課	港営課、工事課、港湾工事事務所、施設事務所
目的	対象(誰・何を)	上屋及び荷さばき地	事業期間	昭和36年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	使用者が効率的に使用できるようにします。		
概要	施設の使用状況を適切に管理し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等が生じた場合には緊急度に応じて補修等の実施に努めます。		根拠法令等	名古屋港湾施設条例
活動内容	①使用許可申請書の受理、②利用者調整、③現場確認を実施し、施設の使用状況の確認及び損傷箇所の発見、④港湾管理情報システムへの使用実績の入力及び⑤利用者からの要望又は施設損傷等の不具合等が生じた場合は緊急度に応じた補修を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	80,835	144,136	279,824	168,265	施設老朽化に伴い補修費が増加しました。
人件費	千円	45,552	45,807	46,379	45,913	
合計	千円	126,387	293,908	326,203	248,833	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
荷さばき地使用率(%) (単年度管理型)	目標	-	-	100.0	100.0	荷さばき地の使用率 使用料÷有効面積金額	景気動向
	実績	43.8	48.7	45.0			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
上屋使用率(%) (単年度管理型)	目標	-	-	100.0	100.0	上屋の使用率 使用料÷有効面積金額	景気動向
	実績	65.9	83.3	68.4			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	施設の提供率は目標の100%を達成していますが、荷さばき地の使用率は50%を下回りました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 施設の公共性の観点から本組合の関与が必要不可欠です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境に適合しています。					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 上屋及び荷さばき地を適切に管理するという事務事業の目的は、「国際・国内海上輸送機能の強化」という施策達成に貢献するものです。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 効率性の観点からは最小のコストとなっています。					

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
施設の老朽化が進行しており、修繕に加えて大規模改修を行わないと利用者の要望に応えられないだけでなく、利用不可能な箇所も発生しうる状況です。	利用者の要望に応えるためには、提供施設の改修等を計画的に実施する必要があります。